

活動支援事業

文化創造館は、何かに挑戦してみたいと思う個人・団体を応援しています。一定の条件を満たした企画・活動は、指定管理者(NPO法人アーツセンターあきた)による審査の上、秋田市文化創造館「活動支援事業」と認定し、さまざまな支援をおこないます。

支援内容



施設及び設備
利用料の減免



広報協力



コーディネーター
によるサポート

審査基準

- 幅広い市民が参加することのできる、ひらかれた活動であるか
- 事業の参加者が新たな知識や視点を広げるきっかけになるか
- 主催者が主体性をもって企画し、小さくともチャレンジを伴う活動であるか
- 秋田において新しくユニークな活動であるか
- 秋田市文化創造館および中心市街地を拠点とした活動であるか
- 活動の過程や成果を記録し、外部へ発信する工夫があるか

審査は毎月1回行っています。企画書をご持参の上、ご相談ください。

そうだん窓口

文化創造館でイベントを開催したい、活動支援事業について詳しく知りたい、実現したい企画やアイデアについて相談してみたい、館内の施設を見学したい... などなど、お気軽にお問い合わせください。ご来館の他、メールやお電話でのご相談も承ります。ご予約をいただけますとよりスムーズにご案内できます。

お気軽にご相談ください
ご相談フォームはこちら



秋田市文化創造館

秋田に暮らす人のために、自分らしい表現を探す人のために、新しい活動を生み出す拠点です。多様な文化活動との出会いの場を提供するとともに、自ら創作活動を行う方、新たな活動をはじめようとする方々を応援します。

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

☎018-893-5656

✉info@akitacc.jp

開館時間 9:00～21:00

窓口営業時間 9:00～21:00(新規利用許可申請の受付と利用料金の収受は20:00まで)

休館日 火曜日(休日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

<https://akitacc.jp/>

秋田市文化創造館で

はじめませんか?

秋田市文化創造館の活動支援&そうだん窓口パンフレット



秋田市文化創造館ではじめてみませんか。

2021年3月に開館した秋田市文化創造館は、秋田駅から徒歩10分。千秋公園の入口に位置しています。

2013年まで秋田県立美術館として市民・県民に愛された建物は、多様な出会いの場を提供し、**創作活動を行う方、新たな活動をはじめようとする方を応援する文化施設**として生まれ変わりました。

- ・これまでの活動をバージョンアップしたい方
- ・さまざまな人とつながりたい方
- ・アイデアがあるけれど何をしたら良いかわからない方
- ・勇気が出ない方

文化創造館で何かをはじめてみませんか？

館内はもちろんのこと、文化創造館を拠点に、秋田のまちなかで展開する活動も応援しています。

さまざまなバックグラウンドをもつ文化創造館のコーディネーターと一緒に、そうぞう・創造・想像…アイデアを現実にするために必要な**「まず、はじめてみること」**を探ってみましょう。明確なイメージがまだ掴めずにいる方も大歓迎！まずはお気軽にご相談ください。



INTERVIEW みんなのはじめかた

実際に文化創造館ではじめて方たちのお話。皆さんも手探り状態ではじめました。

新しい展示方法やワークショップに挑戦



文化創造館でステップアップ

折原和子さん
全日本積穂俳画協会秋田教室代表

私たちの団体は40年を超える活動の歴史があります。しかしこれまでの活動のままだと、広がりを作ることができないと思い、文化創造館の門を叩きました。文化創造館では、藤館長やコーディネーターの方々の助言、例えば新しい展示方法や自由度の高い会場の活かし方、さらに作品展のチラシの作り方までご指導いただきながら実践いたしました。その結果、今までにない年代の方々にも展示を見ていただきました。また、夏休み企画として親子ワークショップにもあらたに挑戦いたしました。これは「自由研究の題材に」という作戦が成功して、たくさんの方々からご応募をいただきました。

文化創造館は可能性に溢れた場所だと感じています。今後も当協会ではここを会場にして活動をさらに充実させていきたいと考えています。



カタルバーをきっかけに「千秋コーヒー研究会」をスタート



研究会を立ち上げ、文化創造館を拠点に活動

高橋宗佑さん
千秋コーヒー研究会

コーヒーが大好きで、いつか自分のお店を持つことが目標です。コーヒーのさまざまな淹れ方を研究する「千秋コーヒー研究会」の企画を文化創造館のコーディネーターさんに相談したところ「試しに『カタルバー1日店主』やってみては？」と提案されました。「小さくていいから、イチから自分で始めることが大切。文化創造館はそのためのお手伝いをしますよ」と。初めての「カタルバー」^{※1}はすごく緊張しましたが、年齢層も幅広くたくさんの方が来てくれて、手応えありでした！

文化創造館はコーディネーターの皆さんが親身になって相談に乗ってくれるのがありがたいです。一人ではうまくスタートできなかったかもしれません。そして「なにかやってみよう」と思っている人が集まってきている雰囲気がいな、と思います。他の人の活動の情報も入ってくるし、「カタルバー」などのアイデアを試したり相談したりできる場もあります。

近い将来の目標は、研究会でコーヒーイベントをやること。1回だけではなく、地道に継続的にやり続けていながら輪を広げていきたいです。



※1 誰かと語り合うだけのバー。ゆるやかに語り合える場、「やってみよう」を試してみる場として「1日店主」を募集している。

コラボレーションでバージョンアップ 「であえ！百鬼夜行盆踊り大会」を開催



文化創造館は出会いの場！

にしかわしょう子さん(左) アーティスト
越高順子さん(右) 酒泡酒泡クラブ代表

にしかわ:秋田に移住して5年目になるのですが、秋田の人たちとの関わりが少ないことが気になっていました。以前住んでいた土地で地元のお祭りに参加したことでさまざまな人とつながった経験から、秋田でも何かやりたいと思い、文化創造館で企画のアイデアを相談したり、コラボしてくれる人を探していたんです。

イベントをやっている最中でも地元の方々とはさまざまな出会いがありました。本番でも新たな出会いがあって、次の展開の構想を練っています。さまざまなつながりを作ってくれた文化創造館に感謝しています。

越高:昨年の「大忘踊大会」[※]終了後、「またやりたい、続けたい！」という話になって、練習会などの活動をしていました。自主企画で盆踊りをやりたいという思いはあるけど、お金のことも考えなくちゃいけないし、いつやれるかな...と考えていたときに、文化創造館のコーディネーターさんから、にしかわさん



の「百鬼夜行盆踊り」の話を紹介されたんです！盆踊りのパートを酒泡酒泡クラブで、装飾プランや衣装作りワークショップをにしかわさん、というふうにお互いの得意分野を発揮して、面白いコラボになったと思っています。

※2 2021年度「酒泡酒泡クラブ」によって文化創造館で開催された盆踊り大会。

みんなの活動例 あなたならどう使う？

文化創造館にはさまざまなスペースがあります。また、文化創造館を拠点に中心市街地で活動することも。使い方は自由自在です！



1F コミュニティスペース

展示はもちろんキッチンを生かしたイベントなどあらゆることに。



1F デッキ・屋外エリア

屋外やデッキを生かしたイベントなど四季を感じるスペース。



2F スタジオA1

大壁画『秋田の行事』が展示されていたスペース。大空間を何に使う？



2F スタジオA2

ワークショップや木工作業など幅広く使えます。



2F スタジオB

ぐるーっと一周できるスペース。2階も見下ろせます。



3F スタジオA3

ちょうどいいから使いやすい。ドアを開けると暗室にもなります。



市街地でも

文化創造館を拠点に活動を広げよう！